



メールサービス コントロールパネル操作方法



1. ログイン

2. パスワード

3. 転送

4. ウィルスチェック

5. フィルター

6. 自動応答

7. 迷惑メール

P.4

P.5

 $P.6 \sim P.7$

P.8

P.9~P.10

P.11

P.12~P.13



■ コントロールパネル	ログアウト
	☆ home
∞ メールアドレス	
@	
	変 更
≦ 転送 無効	設定
じ ウイルスチェック 有効	設定
▼ フィルター	
無効	設定
▲ 自動応答	
無効	設定
⊘ 迷惑メール	
有効	設定

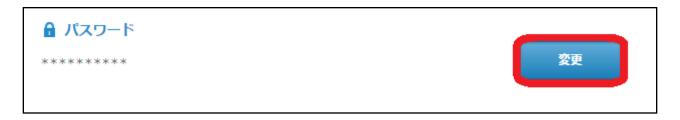


ログインIDには「作成したメールアドレス(@dmm.net)」を入力いただき、パスワードには「メールアドレスのパスワード」を入力の上、「ログイン」をクリックください。

※8回以上ログインを失敗しますと、ログインロックがかかります。 ロック解除が必要な際はDMM光サポートセンターまでご連絡ください。

ログインID		
ログインID		
パスワード		
パスワード		
	ログイン	





半角英数字8文字以上64文字以内で「新しいパスワード」と「新しいパスワード(確認入力)」を入力の上、「決定」をクリックください。

《使用可能文字》 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 0123456789 #\$&

※強固なセキュリティとするために、文字種は混在ください。







有効化を選択し、転送先とするメールアドレスを入力の上、「追加」をクリックください。最大20件指定いただけます。

※転送先メールアドレスは制限なく設定はできますが、RFC非準拠のアドレスへは転送エラーとなります。



転送先の文字列の間違いや、転送先設定よりメールアドレスを除外する場合は該当メールアドレスにチェックを 入れて、「削除」をクリックください。





転送以外に別途受信が必要な場合は「残す」をチェックして「確認」をクリックください。



設定内容を確認の上、よろしければ「決定」をクリックください。







有効化を選択し、「決定」をクリックください。

ウイルス定義ファイルは常に最新へ更新され、チェックは送受信と転送に適用されます。

圧縮されたパスワード付きファイルなどはチェックができないため、メール件名の前に「***UNCHECKED***」という文字が追記されます。無効化の際は追記されません。

※bzip2形式、パスワード設定の圧縮ファイルはチェック対象外になります。

転送をされている場合は、チェックを行ってから転送されます。ウイルス検出された場合は、転送先に除去した ことが通知されます。



ウイルス検出にて動作した場合は、除去したことを受信先に通知します。該当メールは送付されず通知メールだけ届きます。

From(送信元): info@plusmail.jp

Subject (件名): ウイルス検知通知メール

本メールはウイルスチェックサービスをご利用いただいているお客様へ送信されております。

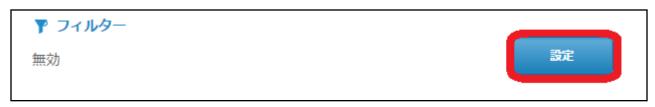
<送信元メールアドレス> から届いたメールは、or <送信元メールアドレス> から送信されたメールは、

ウィルス (ウィルス名) に感染していました。 感染ファイルは削除されました。

こちらのメールは送信専用アドレスで送信しております。

返信はお受けできませんのでご了承ください。





有効化を選択し、拒否するメールアドレスやドメイン名を入力の上、「追加」をクリックください。最大200件 指定いただけます。

ドメイン単位で指定する際は、「example.com」や「sub.example.com」など、特定ドメインに関わるすべてを指定する場合は、「.example.com」※ドメイン前に . (ドット)を入力することにより、サブドメインを含むすべてが指定できます。リストに該当したメールはサーバー内で削除されます。



対象のアドレスやドメイン名など間違えた場合、除外する場合は該当リストにチェックを入れて、「削除」をクリックください。





設定する場合は「確認」をクリックください。



設定内容を確認の上、よろしければ「決定」をクリックください。





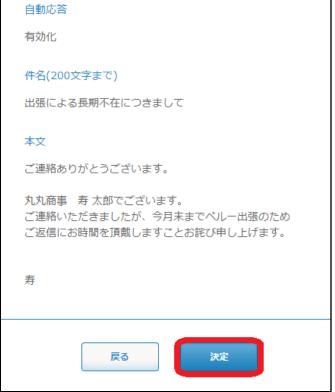


有効化を選択し、件名(全角200文字)と本文(全 角2000文字もしくは最大250行)を入力の上、 「確認」をクリックください。 設定内容を確認の上、よろしければ「決定」をクリックください。

同一のメールアドレスからの自動返信に限り、24時間1回のみの応答となります。

※応答より24時間経過すれば、同一メールアドレスへも再度応答します。







「迷惑メール」は、世界最高水準の判定率を実現するCLOUDMARK社の「Cloudmark Authority」 を採用しており、世界190カ国の信用度の高い利用者からの報告により、蓄積されるリアルタイムな脅威レポートを使って最新の脅威に迅速に対応し、着信/発信メッセージ攻撃の98%以上を判定しながら誤検知率はほぼゼロという高精度を実現しています。

判定されたメール件名の前に[spam] が追記されます。サーバー側で一括して迷惑メール判定を行うので、迷惑メールやフィッシング詐欺メール用のフォルダを作成し、件名で振り分け設定を行えば快適に利用できます。

TOPページより「設定」をクリックください。



有効化を選択し、ホワイトリストには[spam]を追記しないメールアドレスやドメイン名を入力の上、「追加」をクリックください。最大200件指定できます。



ブラックリストには[spam]を追記するメールアドレスやドメインを指定の上、「追加」をクリックください。 最大200件指定できます。





対象のアドレスやドメイン名など間違えた場合、除外する場合は該当リストにチェックを入れて、「削除」をクリックください。



設定する場合は「確認」をクリックください。



設定内容を確認の上、よろしければ「決定」をクリックください。

